

## カリキュラム(計画) 外国の子どもの学習サポーター養成講座 第3回

作成者 氏名：茂木 眞佐代

○養成・研修 / 基礎・専門・○支援員 (該当するものに○)

★参照したモデルプログラムNO. (報告書 pp. 207-244) 下線：内容・項目 (pp. 72-76)

日時・場所	2018年11月16日(金)9:30~12:00		於：磐田市立東部小学校	
実施団体・機関	一般社団法人磐田国際交流協会			
研修・授業名	外国の子どもの学習サポーター養成講座 第3回			
受講者	・人数:6人 ・年齢層:20代( 1 )名 30-40代( 3 )名 50代( )名 60歳以上( 2 )名 ・その他: ・受講者の立場 外国の子どもの支援に関心がある人			
演題・テーマ☆	サポートについて学ぼう②		☆研修内容(報告書 pp. 72-76)	
到達目標	サポーターの実践を見て、具体的にイメージを持ち意識を高める。学習参加のための支援方法を知る			
活動展開 (150分)		★	形態	留意点
導入：(20分) 1. 東部小の支援体制について  見学するクラスと児童について  2. 学習参加のための支援方法		⑭	講義	■東部小の支援体制 ・市内最多外国人児童数 ・加配教員2人、取り出し教室2つ、相談員常駐、JSLサポーター ■見学するクラス・児童について ・取り出し教室：1年生算数 ・在籍学級：4年1組社会 支援体制や児童を把握するための視点を知る。  ■見学の視点として ・サポーターの役割 ・理解のための支援 ・表現のための支援 ・覚えるための支援 ・自律のための支援 ・情意支援
		㉑		参考資料 JSL サポートの手引き

<p><b>展開：(85分)</b></p> <p>2. 取り出し教室での支援を見学 (学校の2時間目)</p> <p>3. 在籍学級での支援を見学 (学校の3時間目)</p>	<p>⑭ ⑰</p>	<p>見学</p>	<p>■学習環境による子どもの様子の違いに気づく。それによるサポートのしかたの違いはあるか。</p> <p>■支援方法のどれに当たるか考えながら、サポートを見学する。</p>	
<p><b>まとめ：(45分)</b></p> <p>4. 振り返り</p> <p>アンケート記入</p>	<p>⑭ ⑰</p>	<p>話し 合い</p>	<p>■感じたこと、気づいたことなどを、支援の方法と結びつけながら確認し合う。</p>	<p>アンケート用紙、振り返りシート</p>